

今、何の病気が流行しているか！

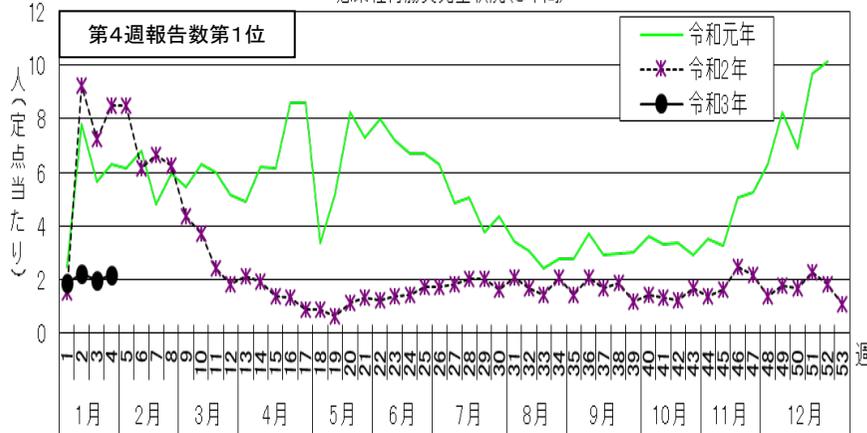
【感染症発生動向調査事業から】

令和3年1月25日（月）～令和3年1月31日（日）〔令和3年第4週〕の感染症発生状況

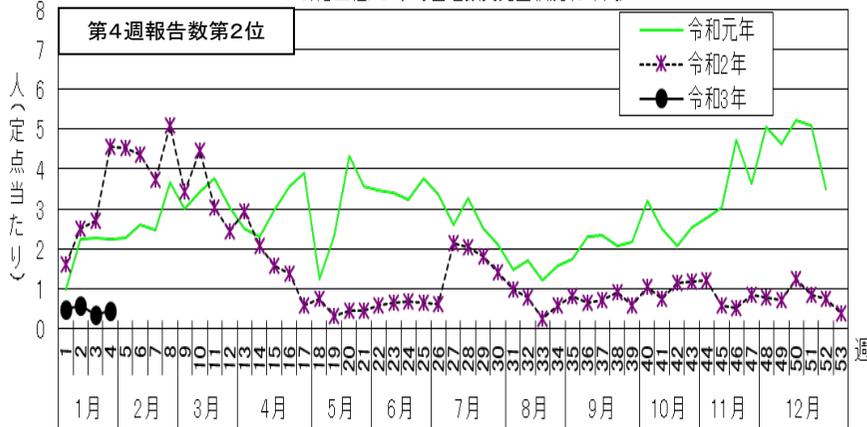
第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.16人と前週（1.97人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.43人と前週（0.35人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.38人と前週（0.30人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



風しんの無料抗体検査と風しん（第5期）予防接種はお早めに！

2月4日は、風しんの日です。妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染した場合、胎児に先天性心疾患や難聴、白内障などの症状を呈する先天性風疹症候群を引き起こすことがあります。

現在、妊婦への感染を防ぐために、過去に風しんの公的予防接種を受けておらず、免疫がないと考えられる成人男性に対して、クーポン券を配布し無料の抗体検査を行っています。さらに、抗体がない方に対しては、風しん（第5期）予防接種としてMR（麻しん風しん混合）ワクチンの接種を無料で実施しています。対象となる方は、まずは早めに抗体検査を実施し、抗体がない場合はなるべく早くMRワクチン接種を済ませましょう。

風しん抗体検査から予防接種までの流れ

1. 風しん抗体検査

事前に実施機関に「クーポン券」を持っていることを伝え、予約し、受診当日は必ず「クーポン券」と本人確認書類（免許証、マイナンバーカード等）を持参してください。

風しん抗体がない場合



2. 風しん予防接種

接種日当日は必ず「クーポン券」を持参してください。
 ※MRワクチン接種後に他の注射用生ワクチンを接種する場合は、接種した日から28日以上間隔を空ける必要があります。

風しん（第5期）予防接種事業の概要

【対象者】
 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性
 【クーポン券の有効期限】来年度まで延長予定（時期は未定）
 ※川崎市では、別途独自の風しん対策事業を実施しています。
 詳しくは川崎市ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

川崎市予防接種コールセンター
 電話：044-200-0142
 受付時間：8時30分～17時15分
 月曜日から金曜日
 （祝日、年末年始除く）